

【アサノ大成基礎エンジニアリング ベトナムで未利用熱の有効利用提案がADB実証試験公募で採択】

ベトナムで未利用

熱の有効利用提案

アサノ大成基礎、AD

B実証試験公募で採択

アサノ大成基礎エンジニアリング（東京都台東区、平山光信社長）は、アジア開発銀行（ADB）の高度技術信託

基金（HLTF）を活用した技術イノベーション実証試験プロジェクト公募に、「ベトナムにおける未利用熱の有効利用システム」を技術提案し採択された。ベトナム国内の工場に提案したシステムを導入し、省エネ効果を確認するほか、市場調査や技術普及活動を進める。

HLTFは、ADBが2017年に新たに設立した基金。高度技術を活用し、ADBの開発途上加盟国にその技術を幅広く普及させ、開発課題解決に貢献する。今回のHLTFを活用したエネルギーセクターでの技術イノベーシ

ョン実証試験プロジェクト公募は、3つのテーマで実施し、うち「クリーンな暖房・冷房ソリューション」分野で同社はジオシステムほか3社と連携して、ベトナムでの樹脂熱交換器（タンク式G-HEX）を活用した未利用熱の有効利用システムを使う技術提案を行い、採択された。

ベトナムを始めとする東南アジアでは経済成長の一方で、省エネが進んでいない分野が多いことが課題となっている。同社では、今回の省エネ技術の導入を通じて、開発途上国での持続可能な社会づくりに貢献していく。